

2025.1.6 うさぎきほいくえん

1月のえんだより



あけましておめでとうございます

子どもたちの元気な声や挨拶と共に、
新しい年がスタートしました。

今年度も残りわずかですが、一日一日を元気に
過ごしていきたいと思えます。

お子様にとって、また保護者の皆様にとって
笑顔溢れる年になりますよう、お祈り申し上げます。
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

1月の予定

- 4日(土) 希望保育
- 6日(月) 保育初め
- 8日(水) 合同礼拝
- 17日(金) 避難訓練
- 24日(金) 合同礼拝・誕生会

習い事

- 7日・21日(火) スイミング
- 9日(木) 英語
- 16日・23日(木) エアーポリン
- 29日(水) 体操



保育目標

報恩(ほうおん)

ごおん

感染症に注意

インフルエンザ、コロナ、
胃腸炎など流行しています。
日頃の予防と早めの受診、
またお休みされた時は
解熱後1日以上経過し
食欲などしっかり体調が戻ってからの
登園にご理解とご協力をお願いします。

今後の予定

- 2月15日(土) 音楽発表会
- 3月21日(金) 保育修了日
4歳修了式(園児のみ)

※卒園式準備の為、午前中保育にご協力下さい

- 3月24日(月) 5歳児卒園式

※式典につき0~4歳児は家庭保育をお願いします



おねがい

~来客用駐車場について~

送迎の際は速やかに車の移動をお願いします。

場内で長くお話をされたり、お子様が遊ばれたりすると
他の方の出入りを妨げたり危険なこともありますので
宜しくお願いします。

今月の子どもたち

0.1歳児

すみれ・れんげぐみ

みんなお歌や手遊びが大好き♪
「十二支のうた」
「北風小僧の寒太郎」
が始まるとニコニコで
楽しく歌っています。
日毎に上手になっていくので
ビックリします!!

2歳児

たんぼぼぐみ

寒さに負けずお外で
元気いっぱい遊ぶ
たんぼぼぐみの子どもたち!
追いかけてっごが子どもたちの中で
ブームになっていますよ~!
「待て待て~」と追いかける姿が
とても可愛いです♡

3歳児

もも・ちゅうりっぷぐみ

12月は体調を崩す子が
たくさんいました。
今年は元気に過ごせるように
寒さに負けない
体作りをしようね!

4歳児

ひまわり・こすもすぐみ

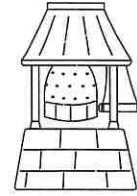
初めてのピアノに触れ
指の使い方、音の出し方を知り
日々楽しそうに
ピアノの練習をしています!
そのうち1曲弾けるように
頑張っています!

5歳児

ほし・ひかりぐみ

12月の子どもたちは
コマ回しやけん玉をして
お正月遊びを
楽しんでいました!
お正月はゆっくり満喫
できたかな??
残り3ヶ月の保育園生活を
楽しもうね!

園長先生のおはなし



明けましておめでとうございます。

新しい年を迎えるにあたって、一度昨年を振り返りたいと思います。
昨年も明るいニュースもあれば暗いニュースもあり様々な出来事がありました。

その中で、個人的に印象に残った出来事の一つ挙げるとすれば、
それはアメリカ大リーグ、大谷翔平選手のシーズン50本塁打50盗塁、
そしてMVPの獲得を挙げます。

野球に詳しくない方でも、一度は耳にしたことのある選手でしょう。

大谷選手の魅力は一言では語れませんが、
これまで野球界で常識と考えられてきたことを覆し、
アメリカではユニコーン（架空の動物）と表現されるほど
ファンの期待を超えるプレーを続けています。

大谷選手が凄いことは間違いないのですが、
毎日、大谷選手の凄いプレーを見ていると、
それがまるで普通のプレーかのような錯覚を覚えてしまいます。

これは日常生活においても同様で、豊かな現代社会に暮らしていると、
いつの間にか多くのことが当たり前になり、「おかげさま」で今日、今があることを
忘れがちです。なぜでしょうか。

私たちは学校教育を受けることで、無意識のうちに科学的なモノの見方や考え方を
身に着けていきます。そして、日々の生活の中で実際に経験して得られた知識を整理して、
色々ことに対する結論を出しています。これまで見えなかったもの経験のないことが、
一度見て体験をすることで、どんどん「普通のこと」「当然のこと」といった
常識に変わっていくのです。

詩人の金子みすゞさんは、

青いお空のそこふかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまでしずんでいる。
昼のお星はめにみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。

とうたっています。

今まで経験したことの無い未知の世界に無限の可能性があります。
みなさんは、自分を見たことがないからと言ってその可能性を否定したり、
信じることをやめてしまったりしていませんか？

「当たり前」で留めていませんか？

当たり前のことに慣れ過ぎて、自分で限界を決めてしまうことは
とても勿体ないことだと思います。

私自身、今年は何か新しいことにチャレンジする一年にしたいと思います。
皆さま、今年もどうぞ宜しくお願い致します。